

令和 4年10月「月報」

1 はじめに

防衛省は8月31日に令和5年度概算要求を行いました。「おやばと」9月号でも紹介されておりますように、令和5年度は、新たな「国家安全保障戦略」及び「防衛計画の大綱」を踏まえて策定される新たな「中期防衛力整備計画」の初年度にあたることから、概算要求基準で定められた要求・要望と、予算編成過程における検討事項（事項のみを要求）とで構成されています。

さて、事項要求の主要な柱として「スタンド・オフ防衛能力」「統合ミサイル防空能力」等が上がっていますが、それに加えて「共通基盤」として「防衛生産・技術基盤」「人的基盤」「衛生機能の強化」などが掲げられ、予算が要求されています。

人的基盤の強化「人材の確保」「処遇の改善」「民間人材の活用」を取り上げてみますと、以下のようなものです。

- 海自艦艇勤務環境の改善等に取り組む、艦艇乗組員を確保
 - 募集、再就職支援の充実等に取り組む、優秀な人材を確保
 - ・募集広報のデジタル化、地本の募集体制強化、貸費学生制度の拡充
 - ・退職自衛官の有用性を広報する動画作成等、援護広報の充実
 - ・自衛官の中途退職抑制を図るための調査研究を実施
 - 女性職員の採用・登用の更なる拡大等、女性職員の活躍をさらに推進するとともに働き方改革、生活勤務環境の改善に関する施策を推進・強化
 - ・職業生活と家庭生活の両立支援
 - ・庁内託児施設の維持・整備、緊急登庁支援
 - ・自衛隊施設、備品・日用品等の整備
 - ・育児・介護、ハラスメント防止、メンタルヘルス、倫理保持・薬物防止
 - ・任務や勤務環境の特殊性を踏まえ、処遇を改善。宿舎整備。
 - 教育研究体制の充実
 - 持続的な部隊運用を支える予備自衛官等に係る施策の推進
 - AI導入に係る部外力の活用、AI講習の実施による人材の育成
- やはり、真っ先に出るのは優秀な人材（隊員）の確保です。

募集 ⇒ 採用 ⇒ 勤務 ⇒ 退職／援護の好循環が望まれています。

募集強調期間の前半が過ぎました。

後半、地本と連携しての「つなぎ広報」へのご協力、宜しくお願いします。

2 防衛省・自衛隊の活動

- (1) 特別防衛監察計画の概要 防衛監察本部は、ハラスメントの根絶に向けた措置に関する防衛大臣指示（防衛大臣指示第4号。令和4年9月6日）により、全自衛隊を対象としたハラスメント防止の状況に関する特別防衛監察を実施しています。

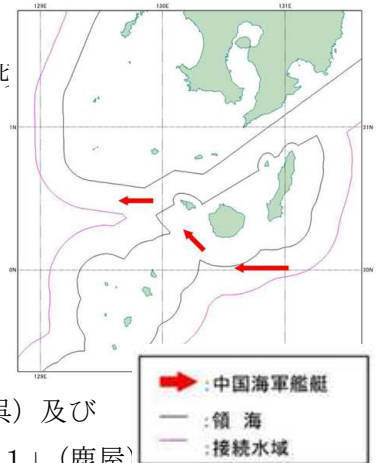
対象項目は、「ハラスメント相談への対応に係る関係規則の遵守状況」、「ハラスメント相談において適正な対応がとられなかった、又は現にとられていない案件について的事实関係」であり、対象は、防衛省本省の内部部局、防衛大学校、防衛医科大学校、防衛研究所、統合幕僚監部、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、情報本部、防衛監察本部、地方防衛局及び防衛装備庁となっています。

- (2) 9月15日（木）午前3時30分頃、海上自衛隊は、種子島（鹿児島県）南南東の我が国の接続水域を西進する中国海軍シュパン級測量艦1隻を確認し、同日午前7時20分頃、当該測量艦が屋久島（鹿児島県）南の我が国領海に侵入したのを確認しました。その後、同日午前10時52分頃、当該測量艦が、口永良部島（鹿児島県）西の我が国の領海から出て、西に向けて航行したことを確認しました。



中国軍艦による領海侵入は7月以来で、今年7度目です。

海上自衛隊第4護衛隊所属「いなづま」（呉）及び第1航空群所属「P-1」（鹿屋）が、所要の情報収集・警戒監視を行いました。



- (3) 9月中旬に上陸した台風14号、15号による大雨は各地に被害をもたらしました。宮崎県では第24普通科連隊、第43普通科連隊が宮崎県知事の要請に基づき、静岡県では、静岡県知事の要請に基づき、それぞれ災害派遣活動を行いました。主な部隊は次のとおりです。

【台風14号関連】

陸上自衛隊第24普通科連隊（宮崎県えびの市 えびの駐屯地） 給水支援

陸上自衛隊第43普通科連隊（宮崎県都城市 都城駐屯地）	人命救助
陸上自衛隊西部方面航空隊（佐賀県 目達原駐屯地）	航空偵察
航空自衛隊新田原救難隊（宮崎県 新田原基地）	航空偵察
【台風15号関連】	
陸上自衛隊第34普通科連隊（静岡県御殿場市 板妻駐屯地）	給水支援



給水支援活動（24普連）



人命救助活動（43普連）



航空偵察（西方航空隊）



感謝の言葉の立て看板
（各幕僚監部 HP など）

(4) 7月「月報」の防衛省自衛隊の活動で触れたところですが、TBS テレビが9月25日（日）朝4時からの「THE NEWS」という番組で、自衛隊の「能力構築支援事業」を取り上げました。

2018年のAPEC開催国となったパプアニューギニアで、陸自中央音楽隊が指導し、素人だった音楽隊を、各国首脳の前に見事な演奏を披露するまでに育て上げた能力構築支援事業が、現地で高い評価を受けていると紹介しました。

また、パプアニューギニアに関しては中国の「一帯一路」との関係が深く、米中の思惑が交錯する場所と言え、在パプアニューギニア渡邊大使の「こうした活動が安全保障上非常に重要だ。」という言葉を紹介しました。

防衛省・自衛隊は、ほかにも、ウズベキスタン、カザフスタン、モンゴルや、カンボジア、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム等々の東南アジア諸国で、衛生、施設、搜索救難、飛行安全、航空気象等の面でも能力構築支援事業を行い、防衛協力・交流の一層の強化・深化を図っています。

3 家族会の活動

(1) 令和4年度 九州・沖縄地域協議会総会を開催

9月8日(木)、令和4年度自衛隊家族会「九州・沖縄地域協議会総会」及び西方総監部主催の「募集連絡会同」が、熊本県熊本市のホテル熊本テルサで開催されました。

「地域協議会総会」では、国歌(音楽のみ)、殉職隊員及び物故会員の霊に黙祷、「私たちの信条」朗読に引き続き、令和3年度事業報告・決算報告・監査報告並びに令和4年度事業計画案・予算案、会則・内規改正の審議を行いました。

また、今回の総会で地域協議会会長の江藤勝彦大分県会長が勇退され、後任の会長に井上朋和熊本県会長が就任されました。江藤会長にはコロナ禍の厳しい環境の下、リーダーシップをとっていただいたことに対し、皆様から感謝の拍手がありました。

各県会長等の意見交換では、「家族会の魅力化施策」、「家族支援の現状」等に関し、熱心に議論が行われました。

「地域協議会総会」に引き続き、総監部の弥頭人事部長担任で「募集連絡会同」が開催され、陸上自衛隊の紹介ビデオ上映、我が国を取り巻く国際情勢の説明、募集、援護、予備自衛官業務に関する説明と家族会に対する協力依頼等がありました。

その後、総監部幕僚長楠見陸将補、幕僚副長北島陸将補も参加をして夕食会が行われました。短い時間でしたが、総会や会同では話せなかったこと等いろいろな話題で盛り上がり、懇親を深めることができました。

翌9日(金)は、健軍駐屯地を訪問し、第5地対艦ミサイル連隊の新隊員による12式地対艦誘導弾の操作訓練展示及び陸自には西部方面システム通信群にしか装備されていない0H移動用多重無線装置の展示説明を受け会員は積極的に質問していました。

今回の「地域協議会」は、3年ぶりの開催であり、対面による意見交換が出来て大変有意義でした。



(2) 令和4年度 南関東地域協議会定例会議を開催

南関東地域協議会は、9月27日、28日の2日間の日程で、定例総会及び浜松基地見学を行いました。

27日には会議のほかに空自浜松基地司令の講話をいただき、翌28日には浜松基地の航空機等を見学して、防衛に関する知識を高めました。



(3) 第43次派遣海賊対処行動水上隊隊員を激励

9月17日、長崎県家族会浦田正会長、横尾博道事務局長、樋本靖生佐世保地区会長が海上自衛隊佐世保基地訪れ、第43次派遣海賊対処行動水上部隊を激励しました。

今回派遣されるのは第8護衛艦隊司令飯ヶ谷孝広1等海佐、護衛艦「すずつき」艦長岩森雄飛2等海佐、前任伍長磯口千早曹長など自衛官210名、他に海上保安（官8名が乗艦し、15時に佐世保の倉島岸壁を出港しました。



飯ヶ谷1佐 磯口曹長 岩森2佐
樋本佐世保地区会長 横尾県事務局長
浦田県会長

本来は18日の午前中に出港と予定されていましたが、台風14号の接近に伴い急遽変更され、あわただしい中で激励となりました。

佐世保地区を出港した後、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、派遣に向けた準備の一環として乗組員全員に対しPCR検査を実施するとともに、日本近海において14日間にわたり訓練等を行いつつ乗組員の健康観察を実施した上で、ソマリア沖・アデン湾に向け進出する予定とのことで、中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動任務は半年間の予定となっています。

4 事務局からの連絡

(1) 新任会長・事務局長等研修会の予定

新たに各県等家族会の会長・事務局長に就任された方々に、自衛隊家族会に係る理解を深めていただき、本部と県本部等との連携を密にして、円滑に運営してゆくために「新任会長・事務局長等研修会」を11月10日(木)にグランドヒル市ヶ谷において実施する旨、先日、通知を発簡し、準備を進めております。

該当する方は宜しく申し上げます。

(2) 南関東防衛局が開催する防衛問題セミナーのお知らせ

南関東防衛局が防衛問題セミナーを開催します。

セミナーは11月5日(土)1400からYouTubeで配信され、アーカイブで11月27日(日)まで視聴できます。「安全保障分野で活躍する女性たち」と題したセミナーの講師を務められるのは、防衛研究所戦史研究センター主任研究官の吉田ゆかり1等空佐と、米第7艦隊司令部 海上自衛隊自衛艦隊連絡官のMaria Katrina E. Ablen少佐です。

申し込みは、以下のURLまたは南関東防衛局のHPから、配信最終日の前日11月26日(土)までにお願ひします

<https://forms.gle/ZgLHa3GHf6fRtopj6>

(3) ボランティア保険料の支払いについて

令和3年10月から更新したボランティア保険が令和4年9月で満期(1年)となりました。各県家族会の保険料支払いにつきましては、事務局からの「保険料請求のご案内」が、お手元に届き、確認を頂いた後に10月~12月の間に支払いをお願いします。

(4) 各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の今井へご連絡下さい。

ア 家族会パンフレット「隊員と家族をつなぐ」

令和5年、令和6年の所要数を 11月1日(火) まで

イ 北方領土返還要求署名用紙

令和5年度所要数を 11月30日(水) まで

ウ 入校・入隊者激励会用「おやばと」(無償配布)

入校・入隊者激励会用の「おやばと2月号」所要数を 11月30日(水) まで

(5) 令和4年度「活動状況等調査」について

既に家族会本第21号(令和4年4月28日)にて令和4年11月1日(火)を提出期としてお願いしております。あと2か月余りですが、提出の程よろしくお願ひ致します。

以上